

令和元年11月期経営状況概要

項目	予算額 (前年度)	当月執行額	執行累計額	執行率	執行残高	執行+支出負担	対予算比
8. 水道事業収益	2,599,049	193,180	1,573,064	60.5%	1,025,985		
1. 営業収益	2,258,690	189,038	1,538,709	68.1%	719,981		
1. 給水収益	2,229,440	188,602	1,510,274	67.7%	719,166		
2. 受託工事収益							
3. その他営業収益	29,250	436	28,434	97.2%	816		
2. 営業外収益	340,220	4,122	34,196	10.1%	306,024		
3. 特別利益	139	20	159	114.3%	△ 20		
9. 水道事業費用	2,696,883	78,200	746,723	27.7%	1,950,160	981,282	36.4%
1. 営業費用	2,470,287	78,176	646,230	26.2%	1,824,057	880,789	35.7%
1. 原水及び浄水費	505,482	30,713	248,297	49.1%	257,185	347,540	68.8%
2. 配水費	374,598	20,192	176,125	47.0%	198,473	228,028	60.9%
3. 給水費	112,081	7,210	65,466	58.4%	46,615	75,831	67.7%
4. 受託工事費	52		52				
5. 業務費	164,244	13,220	93,960	57.2%	70,284	155,991	95.0%
6. 総係費	123,993	6,841	62,382	50.3%	61,611	73,399	59.2%
8. 減価償却費	1,131,737				1,131,737		
9. 資産減耗費	58,100				58,100		
10. その他営業費用							
2. 営業外費用	199,969		100,254	50.1%	99,715	100,254	50.1%
3. 特別損失	10,326	24	239	2.3%	10,087	239	2.3%
4. 予備費	16,301		16,301				
10. 資本的収入 (繰越含む)	1,151,379	439	38,352	3.3%	1,113,027		
1. 企業債	705,500				705,500		
2. 負担金・補償金	80,866	307	31,796	39.3%	49,070		
3. 補助金	183,333				183,333		
4. 出資金	172,304				172,304		
5. 加入金	9,376	132	6,556	69.9%	2,820		
9. その他資本的収入							
11. 資本的支出 (繰越含む)	2,525,609	56,627	507,802	20.1%	2,017,807	1,383,039	54.8%
1. 建設改良費	1,522,736	56,627	161,555	10.6%	1,361,181	1,036,792	68.1%
1. 取水施設整備費	66,059				66,059	30,800	46.6%
2. 導水施設整備費							
3. 浄水施設整備費	105,721	18,997	24,170	22.9%	81,551	78,036	73.8%
4. 送水施設整備費							
5. 配給水施設整備費	1,346,601	37,630	136,016	10.1%	1,210,585	924,426	68.6%
6. 管理施設整備費	2,055		1,369	66.6%	686	2,738	133.2%
7. 消防設備整備費	2,300				2,300	792	34.4%
2. 企業債償還金	702,873		346,246	49.3%	356,627	346,246	49.3%
3. 長期貸付金	300,000						
12. たな卸し資産購入限度額	47,968	1,449	18,242	38.0%	29,726	18,242	38.0%
①有収水量	7,779,100	642,003	5,251,575	67.5%	2,527,525		
②供給単価	286.59	293.77	287.59	100.3%	△ 0.99		
③給水原価	345.35	121.77	142.14	41.2%	203.20		
人件費	237,115		87,600	36.9%	149,515		
1. 収益の収支	193,023		68,454	35.5%	124,569		
1. 職員給与費	192,901		68,454	35.5%	124,447		
2. 特別職 (報酬、賃金等)	122				122		
2. 資本的収支	44,092		19,146	43.4%	24,946		
* 職員給与費	236,993		87,600	37.0%	149,393		
職員給与費対給水収益							
1. 損益勘定職員	8.7%			4.5%			
2. 全職員	10.6%			5.8%			

合計残高試算表	A期首	B当月	C=B-A	備考
A. 固定資産	46,693,251	46,843,989	150,737	
*減価償却累計額	19,970,899	19,970,899		
B. 流動資産	3,130,168	3,337,723	207,554	
1. 現金預金	2,628,502	2,791,758	163,256	
2. 未収金	450,396	209,114	△ 241,282	
3. 貸倒引当金	△ 5,115	△ 5,115		
4. 貯蔵品	34,447	34,475	28	
5. 前払費用・前払金	16,824	246,712	229,888	・工事前払金等
6. その他		55,664	55,664	・仮払消費税
D. 水道事業費用		706,771	706,771	
1. 営業費用		606,295	606,295	
2. 営業外費用		100,254	100,254	
3. 特別損失		221	221	
1. 借方合計=A+B+D	53,782,295	54,847,358	1,065,062	
E. 固定負債	11,719,131	11,719,131		
1. 企業債	11,460,827	11,460,827		
2. 引当金	258,304	258,304		
F. 流動負債	929,242	501,057	△ 428,186	
1. 企業債	697,683	351,437	△ 346,246	・償還元金
2. 未払金	216,415	29,683	△ 186,732	
3. 前受金	26	28	2	
4. 引当金	14,621		△ 14,621	・賞与引当金
5. 資本的収入整理勘定				
6. その他	496	119,908	119,412	
うち仮受消費税		118,168	118,168	
G. 繰延収益	10,236,815	10,274,672	37,856	
1. 長期前受金	10,236,815	10,274,672	37,856	・償却資産に係る財源のうち、補助金、補償金・負担金・受贈財産等
* // 収益化累計額	3,958,876	3,958,876		
H. 資本金	10,683,621	10,683,621		
1. 自己資本金	10,683,621	10,683,621		・固有、繰入 (出資)、組入
2. 借入資本金				=企業債元金-負債勘定へ
J. 剰余金	237,472	237,472		
1. 資本剰余金	22,900	22,900		・非償却資産にかかるもの
2. 利益剰余金	214,572	214,572		
K. 水道事業収益		1,455,392	1,455,392	
1. 営業収益		1,423,659	1,423,659	
2. 営業外収益		31,584	31,584	
3. 特別利益		149	149	
2. 貸方合計=E+F+G+J+K	53,782,295	54,847,358	1,065,062	

a. 供給単価 (円、銭)	265.68	=給水収益÷有収水量	
b. 給水原価 (円、銭)		原価算入額は受託工事収益、材料売却原価、特別損失を除く	
1)実数値	134.54	=原価算入額÷有収水量	当月予算
2)シミュレーション	260.02	原価算入額に減価償却費の「経過月数/12」を加えたもの	
c. 施設利用率	73.72%	=一日平均配水量÷施設能力	
d. 有収率	85.64%	=有収水量÷配水量	
e. 流動比率	665.12%	=流動資産÷流動負債	
f. 現金預金比率	557.17%	=現金預金÷流動負債	

*供給単価、給水原価は損益ベースであること

令和元年 1 1 月期 業務実績報告書（水道管理課）

一 般 事 項

1 料金調定関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,357	243,516	243,000	243,746	516	△ 230
2 調定量	m ³	637,744	5,216,619	5,229,000	5,264,044	△ 12,381	△ 47,425
3 調定料金(税抜)	円	171,342,289	1,394,276,611	1,396,000,000	1,403,988,281	△ 1,723,389	△ 9,711,670
4 口振加入件数	件	25,081	201,038	—	201,177	—	△ 139

2 給水業務関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
5 給水人口	人	78,824	—	79,843	△ 1,019
6 給水件数	件	30,120	—	30,163	△ 43
7 開栓処理件数	件	163	1,996	1,891	105
8 閉栓処理件数	件	243	2,032	1,969	63
9 給水工事設計審査	件	39	537	532	5
10 給水工事竣工検査	件	64	618	629	△ 11
11 経年メーター交換	件	250	3,982	3,771	211
12 メーター口径変更	件	10	47	42	5
13 月末停止件数	件	△ 1	107	111	△ 4

3 料金徴収関係

項 目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
14 当年度分	199,621,657円	86.77%	194,610,905円	87.17%
15 過年度分	4,714,898円	97.51%	4,871,781円	97.48%
16 計	204,336,555円	—	199,482,686円	—

4 給水装置工事指定業者

迫町	登米町	中田町	豊里町	米山町	南方町	津山町	東和町	石越町	市内計	市外計	合計
17	8	15	12	13	9	8	14	6	102	120	222

5 入札・契約

(左：当月 右：累計)

項 目	累 計 (落札件数 / 入札件数)		工事請負		設計業務		業務委託		物品購入		その他	
入札件数	5	83	3	51	1	8	0	5	1	19	0	0
契約締結	一般	1	25	1	25	0	0	0	0	0	0	0
	指名	2	44	1	18	1	8	0	1	0	17	0
	随契	2	14	1	8	0	0	0	4	1	2	0
	合計	5	83	3	51	1	8	0	5	1	19	0

《中止 当月 0件／累計 1件》《不調 当月 0件／累計 5件》《取消 当月 0件／累計 0件》《未契約 0件》

6 竣工等検査

検査種類	累 計	当月件数	内 容
竣工検査	15	4	工事
中間検査	12	2	工事
合 計	27	6	

7 主な行事・会議

会 議 名	日 時	内 容
部長等連絡調整会議	5 日	1 1 月 事業打合せ等
安全衛生委員会	1 3 日	第 8 回 ストレスチェックの結果について 他
水道ブースター会議	— 日	—
給水拠点設置訓練	1 3 日	迫総合支所
所内連絡会議	2 2 日	1 0 月期 各種経営分析等
例月出納検査	2 7 日	1 0 月期 例月出納検査
指名委員会	1 2 ・ 2 6 日	第 2 0 回 ・ 第 2 1 回
入札	1 4 ・ 2 8 日	4 件 ・ 1 件
緊急メールの発信	— 日	漏水 18、破損 9、取停 5、水質 2

特 記 事 項

1. 1 1 月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

ア 収益的収支

当期の給水収益は171,457千円（税抜）で、前月期に比べて112千円の減、予算執行率67.7%（前年度68.1%）、対前年同月比（累計）では9,260千円の減となっています。営業収益は手数料収益436千円を含む189,038千円、営業外収益は事務手数料4,004千円、水道管破損等による補償金66千円等で4,122千円となりました。

当期の営業費用は78,176千円を執行し、累計額は646,230千円、予算執行率（累計）26.2%（前年度27.9%）となりました。特別損失は丸森町への応急給水活動費として23千円を執行しております。営業外費用の当期執行はありませんでした。

イ 資本的収支

当期の収入は工事負担金307千円、加入金132千円を執行し、累計額は26,185千円、予算執行率（累計）2.3%（前年度2.4%）となりました。

支出は、浄水施設整備費18,997千円、配給水施設整備費37,630千円を執行し、累計額472,646千円、予算執行率（累計）19.0%（前年度22.2%）となりました。

ウ たな卸し資産購入限度額

当期は薬品に1,449千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 水道週間作品コンテスト受賞者表彰式

11月20日（水）に第61回水道週間作品コンテスト受賞者表彰式を開催しました。今年度も市内の児童・生徒の皆さんから、のべ659点のご応募をいただき28名の方が受賞となりました。さらに、優秀な作品を全国コンテストへ出品しており、今年度は1名が入賞されました。

表彰式では、全国コンテスト入賞者1名を含む28名の受賞者に、熊谷市長から表彰状並びに記念品の贈呈を行いました。また、審査を担当していただいた先生方から講評をいただき、受賞者を代表して全国コンテスト入賞の加賀野小学校2年清野凜（せいのみりん）さんが作文の朗読を行いました。

なお、受賞作品は11月22日（金）から11月29日（金）までイオンタウン佐沼店内通路に展示し、多くの皆様にご覧いただきました。



作文の朗読



受賞者の皆さん



イオンタウン佐沼での展示

(2) 登米市議会定例会11月特別議会

11月19日（火）に登米市議会定例会11月特別議会が開催されました。水道事業所では補正予算（第2号）を提案し、原案通り可決されました。

今回の補正は、台風第19号により被害を受けた水道施設の復旧などに要する経費で、施設の災害復旧費5,940千円と災害対応に伴う時間外勤務手当709千円を計上しました。

(3) 応急手当講習会を開催

水道事業所安全衛生委員会の事業として、消防署津山出張所から講師を迎え、11月7日（木）に「応急手当講習会」を開催しました。家庭や職場での突然の傷病への対応に備えるため、水道事業所職員と業務受託者も参加し、止血の方法や骨折の際の固定方法を中心に応急手当について学びました。



訓練の様子

令和元年11月期 業務実績報告書（水道施設課）

一般事項

経営分析の状況

◎ 配水量の状況

(単位：m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	計画累計 (C)	前年累計 (D)	比較 (E)	
					対計画 (B)-(C)	対前年度 (B)-(D)
総取水量	777,421	6,597,492	6,496,590	6,606,040	100,902	△ 8,548
総配水量	723,953	6,132,169	6,048,960	6,052,718	83,209	79,451
1 有効水量	685,946	5,633,232	5,661,950	5,671,097	△ 28,718	△ 37,865
(1) 有収水量	642,003	5,251,575	5,262,800	5,299,657	△ 11,225	△ 48,082
(2) 無収水量	43,943	381,657	399,150	371,440	△ 17,493	10,217
2 無効水量	38,087	498,937	387,010	381,621	111,927	117,316
(1) 漏水量	37,991	496,447	382,000	376,395	114,447	120,052
(2) その他無効水量	96	2,490	5,010	5,226	△ 2,520	△ 2,736
3 有収率	88.68%	85.64%	87.00%	87.56%	-1.36%	-1.92%

※ 当月期の最大配水量は、5日（火）に記録した【25,176m³】です。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位：件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
ア 取水施設整備事業	3	66,059	1	30,800			35,259	46.62%
ウ 浄水施設整備事業	11	105,721	7	53,866	2	24,170	27,685	73.81%
オ 配給水施設整備事業	76	1,310,105	33	788,410	16	100,861	420,834	67.88%

※ 件数及び金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計です。

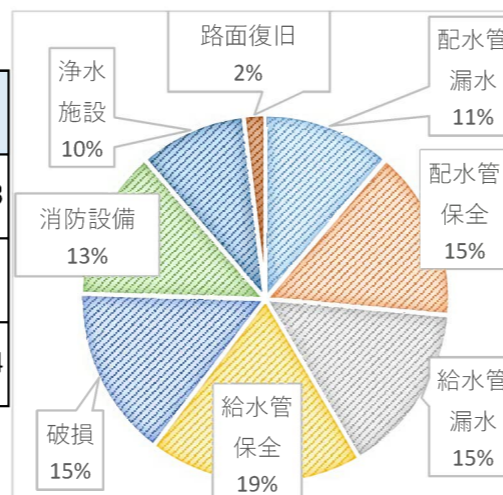
◎ 毎日検査

※ おいしい水の目安 遊離残留塩素 0.4mg/l以下

	保呂羽浄水場 F1 遊離残留塩素	保呂羽浄水場水系 (測定戸数：7)	東和町水系 (測定戸数：9)	石越町水系 (測定戸数：1)	大萱沢浄水場水系 (測定戸数：2)
平均	0.68	0.39	0.51	0.63	0.37
最高	0.71	0.51	0.80	0.70	0.50
最低	0.63	0.26	0.20	0.60	0.10

◎ 特定工事発注状況

	配水管 漏水	配水管 保全	給水管 漏水	給水管 保全	破損	消防 設備	浄水施 設	路面 復旧	その他	計
月計	6	8	8	10	8	7	5	1	0	53
累計	34	63	92	36	28	18	6	24	0	301
前年同 月累計	57	89	70	15	18	17	7	21	0	294



特記事項

1. 外部評価委員会の実施について

11月29日（金）に、浄水施設等管理運転業務及び配水施設等維持管理業務の2業務について、外部評価委員会を実施しました。

外部評価は、受託者の業務執行状況を把握するとともに業務内容を適切に評価することを目的に実施しているものです。

今回は令和元年度上半期の業務状況について、受託者へヒアリング調査を実施しました。委員からは、事業について適切に業務が行われており、前回より広報活動の取り組みの強化を図っていることや業務提案を行っていることなど良い取り組み状況であるとの意見をいただきました。



外部評価を行っている様子

2. 水道技術管理者資格取得会実務研修の実施について

11月5日（火）～12月11日（水）にかけて、日本水道協会が開催する「水道技術管理者資格取得講習会」の実務研修を水道事業所で受入れを行っています。

これは、水道法において水道の管理を行う上で、技術上の業務を担当する人1名を必ず置く必要があります。その実務研修の会場として当市に要請があり、受入れを行っているものです。

今回は、10月に学科研修を終了した登米市管工事業協同組合から研修者1名を受入れ、浄水処理システム、配水管工事の設計、維持管理業務及び給水装置工事などの研修を行っています。受講者からは日々感じている課題や悩んでいることが解決され、有意義な研修であるとのことでした。



研修を受講している様子

3. 新田小友地区で出張市役所を開催

11月10日（日）、迫町新田小友地区において、出張市役所が開催され、約30名が参加しました。これは、市が実施している施策や事業について関心や理解を深めてもらうため、平成18年度から市で行っているものです。今回は、水道の災害対策、水道水ができるまでの仕組みや水質についての研修会を開催したいとの要望があり、出張市役所を開催しました。

参加者からは、新しくできた新田配水池により、迫町新田地区や南方町西郷地区などへ給水が行われることが分かった。また、安全対策が図られ安心した。と感想をいただきました。今後も積極的に出張市役所に参加するなど広報活動を行っていきます。



水質実験を行っている様子

4. 令和元年11月の漏水調査結果について

有収率向上対策のため、漏水調査を実施しています。11月末の漏水調査の結果は、15件6.655m³/h(累計)の漏水を発見しました。11月末での有収率は85.64%となっています。継続的に漏水調査を実施しながら、老朽管の更新工事を進め、令和元年度末で、計画有収率87.0%を目指します。

施設	件数	漏水量 (m ³ /h)
配水管	6	2.960
付属施設	0	0.000
給水管	9	3.695
計	15	6.655